

 シラバス検索 / Syllabus Search			
2025 年度の講義概要のデータベースを検索します。			カリキュラムツリーへのリンク
学部・研究科 Faculty/Graduate School	総情	時間割コード Course Code	70374
科目名 Course title サブテーマ Subtitle	コンピュータネットワークの基礎	授業形態/単位 Term/Credits クラス Class	秋/2 1
担任者名 Instructor	田頭 茂明	曜限 Day/Period	火3
授業概要 Course Description 到達目標 Course Objectives	授業種別 / Teaching Types		
	講義 (対面型)		
	言語 / Language		
	日本語(Japanese)		
	授業概要 / Course Description		
	コンピュータネットワークに関わる基礎技術を系統的に講義する。まず、コンピュータネットワークの歴史、原理、分類、構成技術を紹介し、ネットワークを通じて行われる情報交換のための仕組みを学習する。次に、現在主流となっているインターネットを説明し、その基盤技術であるTCP/IP、およびその上で動作するネットワークアプリケーションについて概説する。ネットワークアプリケーションにおいては、インターネット上で提供されるWWWの動作原理および関連技術、データ収集にも用いられる通信技術等について解説する。さらに、上位層から下位層まで広範囲にわたるITセキュリティ、ネットワークセキュリティについて講義する。		
授業計画 Course Content	到達目標 / Course Objectives		
	①知識・技能の観点 ・コンピュータネットワーク上で行われている情報のやり取りについて理解する。 ・TCP/IPの基本を理解する。 ・ネットワークアプリケーションについての理解を深める。 ②思考力・判断力・表現力等の能力の観点 ・教科書や資料その他を参照しながら、問題を適切に判断できる。 ③主体的な態度の観点 小テストについて、積極的に取り組める。		
	授業手法 / Teaching Methods		
	・教員による資料等を用いた説明や課題等へのフィードバック		
	授業計画 / Course Content		
	第01回 ガイダンス 第02回 コンピュータ・ネットワークの沿革 第03回 インターネットのコア・テクノロジー 第04～06回 アプリケーション層プロトコル 第07, 08回 トランスポート層プロトコル 第09, 10回 インターネット層プロトコル 第11回 各種通信メディアとプロトコル 第12回 携帯電話を支える無線技術 第13, 14回 情報セキュリティ 第15回 まとめ		
成績評価の方法・基準・評価 Grading Policies / Evaluation Criteria	授業時間外学習 / Expected work outside of class		
	講義に臨むにあたっては、事前に教科書を目を通しておくことを推奨する。 また各授業後に小テストを実施する。		
	方法 / Grading Policies		
	定期試験（筆記試験）の成績と平常成績で総合評価する。 成績評価の際の配分割合は、定期試験：50%、平常成績（小テスト）：50%とする。		
	基準・評価 / Evaluation Criteria・Assessment Policy		
	①知識・技能の観点 定期試験において、授業内容を全般的に理解しているかどうかを判定する。 ②思考力・判断力・表現力等の能力の観点 与えられた選択肢の中から、適切なものを選ぶ能力を判定する（定期試験・小テストともに）。 ③主体的な態度の観点 小テストの受験状況・成績から、主体的な取り組みを判定する。		
教科書 Textbooks	小林孝史 『コンピュータ・ネットワーク入門 第2版』（ムイスリ出版） 978-4896413052 適宜、補助資料を配布する。		
参考書 References	アンドリュー・S・タネンバウム 他 『コンピュータネットワーク 第6版』（日経BP） 978-4296070428 情報処理学会 『日本のコンピュータ史』（オーム社） 978-4274209338 中村行宏 他 『情報セキュリティの基礎知識』（技術評論社） 978-4774188072		
フィードバックの方法 Feedback Method	関大LMSのメッセージ機能で対応する。毎回の小テストには簡単な解説を付ける。関大LMS内の質問掲示板への投稿された質問等については、質問掲示板および次回授業の冒頭で回答する。		
担任者への問合せ方法 Instructor Contact	関大LMSの「質問掲示板」または「メッセージ」で受け付ける。		
備考 Other Comments	・受講生への連絡は、関大LMSの「メッセージ」を用います。		